



PIN-Reference1

RCAオーディオケーブル

BAL-Reference1

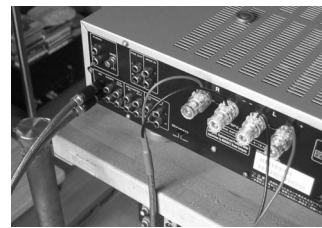
XLRオーディオケーブル

0.9kaiser(0.945m): ¥52,500
1.8kaiser(1.890m): ¥80,850
2.7kaiser(2.835m): ¥109,200
3.6kaiser(3.780m): ¥137,550
4.5kaiser(4.725m): ¥165,900
5.4kaiser(5.670m): ¥194,250
6.3kaiser(6.615m): ¥222,600
価格は全て税込み

**高速レスポンスをそなえ
精度の高い表現性を発揮**
XLRオーディオケーブルは比較的初期状態から一定したバランスで、中低



試験は筆者宅の他、カイザーサウンド東京試験室でも行った。一般家庭を意識したシンプルな構成で、スピーカーは同社が開発中の95dBの高効率フルレンジシステムを採用



プリメインアンプにはマランツのエントリーモデル「PM6001」を使用しているが、Reference1の実力は十分発揮できた

PRESENTED BY
カイザーサウンド株式会社
〒135-0045 東京都江東区古石場2-14-1-606
TEL: 03-3643-1236
HP: <http://www.rosenkranz-jp.com>
E-Mail: info@rosenkranz-jp.com

Music Spirit

by Rosen Kranz

れ、全体に輪郭をすっきり描く高解像度が基調になっている。
ただ、本当の真価は一晚おいたあたりから得られる。導体の物性から想像できたことだが、性能を発揮するまで時間が必要だ。最小でも1時間である。より性質が一定して純度を高め、重低音へ伸び、バランスも均質さを増してくる。
ウルトラ・クリスタル導体はどこに特徴があるのか。ここで採用されている細身な導体構成でもエネルギー密度が均一で高く、やせた傾向はなく、低歪で抜けきりに優れ、混濁やにじみがデリケートな高音成分にも極めて少ないことが挙げ

られるだろう。芯線の硬度から想像すれば、音質にある程度の硬さが発生しやすいものだが、声楽、弦楽器を聴いてもなめらかな質感で潤いがある。
澄みきった美しいバロック音楽の倍音成分、明晰な解像度、トランジェントに優れた高域特性は、すべてのアルバムで新鮮なサウンドを楽しませる要素をそなえたものになる。オルマイティでクオリティの高い音質性能に納得できる。
・XLRオーディオケーブルBAL-Reference1
**使い込むほど真価を発揮
純度やクオリティが向上**

RCAオーディオケーブルはプラグが装着されるため、スピーカーケーブルとは多少違いもあるが、中低域を引き締め

解像度の高いシャープな高域特性で、トランジェントのよさは傾向を継承している。低域の深みや質感の安定には、これも時間を必要とするが、音の輪郭を鮮やかに描き、高速なレスポンス、S/Nの高い音質で魅力である。ピアノ曲の明快に立ち上がるインパクト、音色は格別な印象を感じさせるものだ。音の芯がぼやけずコントラストの高い表現も特色となっている。高速で精度の高い表現が狙える。

オーディオケーブル界に波紋を広げる 導体構造による音質追求時代が到来

域の量感も厚い。高S/Nで分解力の高い表現が特色になり、オースドックスな音質の中に締まるタンピングや、抜けきりのよさなどに魅力を持っている。このケーブルも24時間でさらに純度が高まり、クオリティが向上。使い込むほどに真価を発揮する。
・カイザーサウンド東京試験室での試験
**高効率フルレンジシステムを
明快でハイスピードに再現**
カイザーサウンドが開発中の95dBの高効率フルレンジスピーカーによるシステムで、Reference1を試聴する

と、明快でハイスピード、透明で鈍さのないサウンドである。中間帯域を軸に前方に抜けきってくる様子は、極めてロスのない再現力を感じさせた。明るくつややかな音色でボーカルははつらつとして、パーカッションは明快に飛び出す勢いがある。カイザーはサウンドを活性化させるような目標があるようだ。
Reference1は超高級ケーブルになるが、ウルトラ・クリスタル導体の登場はオーディオケーブル界に波紋を広げることになるだろう。導体は再度結晶構造、製法による音質追求の時代になりそうである。

CLOSE
UP
クロースアップ

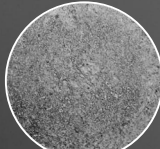
世界初！D.U.C.C.導体を採用した Music Spiritのフラッグシップケーブルが誕生



Text by
福田雅光
Masamitsu Fukuda

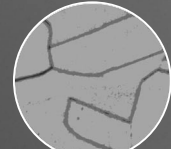


通常導体の断面組織



銅結晶の大きさが通常の1億倍に巨大化

D.U.C.C.導体断面組織



Reference1

スピーカーケーブル
¥14,700 / m(税込)
50m巻き、25m巻きでも販売

**結晶を巨大化することで
不純物による影響が激減**

ユニークなカイザー理論で知られるカイザーサウンドのオリジナルブランド、Music Spiritから、最高位となるケーブル、リファレンス・シリーズが登場した。これには三菱電線工業が開発したD.U.C.C.導体を採用されているのが大きな特徴になる。ダイヤ・ウルトラ・クリスタライズド・カッパーと呼ばれるこの導体は、最終線径に線引きした状態で、銅の結晶の大きさが通常の1億倍ほどになっている。この巨大結晶化された導体をオーディオ用のケーブルとして、世界で初めて製品化させたのが、ここに紹介するReference1である。
この導体を採用することにより、自然な結晶構造が維持され、線引き加工がないため導体に機械的な歪みが存在しないことになるのである。
巨大結晶は結晶粒界に存在する不純物による影響を激減できるメリットから、過去にも採用されたが、今回の導体はケーブルに発生する聴感的な方向性を研究する過程で到達したもので、結晶面が一方向に整列することがなく分散することを発見したことに意味がある。このことは導体に固有の性質が発生しにくい構造につながっている。

**プラスとマイナス導体の
燃りピッチをコントロール**

リファレンス・シリーズはケーブル外径7・3φmmの2芯シールド構造のスピーカーケーブルをベースにRCA、XLRオーディオケーブルに共用したラインアップである。導体構成はカイザー理論から決定された0・525φmmの7本で、かなり太い芯線で硬度も高めに設計され、マイナス側は7本のうち1本は0・105φ×19本の細い導体加えられている。
・スピーカーケーブルの試験
**エネルギー密度が均一に高く
なめらかな質感と潤いが魅力**
スピーカーケーブルは常用しているケーブルよりもかなり細いため、低域の駆動力やバランスに関しては不安もあったが、試験してみるとそうした心配は無用であった。エネルギー分布は広い帯域でコンスタントで力があり、クセの少ない帯域展開と音の性質的なバランスが透明性の高いニュートラルなトーンで一定していることに安心できる。
さて、表現力としてのどのような特色があるのだろうか。接続は端末を裸の状態ですべて使っている。ケーブルの素性が現れるはずである。明快に立ち上がるマリナー、金管楽器を主体にした編成の大きなジャズサウンド、繊細な倍音スペクトラムを含むバロック音楽など、難題の試験プログラムを再生してみる。このケーブルは立ち上がるレスポンスに優れ、強力なタンピングで中低域を引き締め、あいまいにぶくぶく要素が少なく明確に音が結は